

プログラム

5月22日(月)

9:00～17:00 受付

9:30～9:40 開会挨拶

眞貝 洋一（国立研究開発法人理化学研究所眞貝細胞記憶研究室）

9:40～11:40 一般講演 I

座長：佐々木 裕之（九州大学）

9:40～10:10

O-1 テトラヒメナにおけるDNAの削減は小分子RNAによる世代間ゲノム比較と
トランス認識ネットワークにより制御されている

望月 一史（CNRS, Montpellier）

10:10～10:40

O-2 高次クロマチン構造形成の分子機構

中山 潤一（基礎生物学的研究所クロマチン制御研究部門）

10:40～11:10

O-3 ヒストン脱メチル化酵素のリン酸化と脱メチル化による白色脂肪細胞の褐色化機構

酒井 寿郎（東北大学大学院医学系研究科 細胞生物学講座分子生理学分野
東京大学先端科学技術研究センター 代謝医学分野）

11:10～11:40

O-4 多能性幹細胞から膵 β 細胞を創る：代謝とエピゲノムによる制御

桑 昭苑（東京工業大学生命理工学部 生命理工学研究科）

12:00～13:00 ランチョンセミナー

共催：株式会社モノクローナル抗体研究所

座長：木村 宏（東京工業大学 科学技術創生研究院）

モノクロ抗体研

須山 幹太（九州大学 生体防御医学研究）

中戸 隆一郎（東京大学分子細胞生物学研究所）

13:30～15:00 ポスター討論1（P1-1～P1-52）

15:10～17:10 一般講演 II

座長：伊藤 隆司（九州大学大学院医学研究院 医化学分野）

15:10～15:40

O-5 核酸のケミカルバイオロジー：人工遺伝子スイッチとエピジェネティック修飾

杉山 弘（京都大学大学院理学研究科）

15:40～16:10

O-6 ヒストン翻訳後修飾を導入する人工触媒システムの開発

川島 茂裕（東京大学大学院 薬学系研究科）

16:10～16:40

O-7 合成および内因性小分子化合物によるNAD依存的リジン脱アセチル化酵素の活性制御

伊藤 昭博（理化学研究所）

16:40～17:10

O-8 DNAメチル化を編集する

畑田 出穂（群馬大学生体調節研究所附属生体情報ゲノムリソースセンター
ゲノム科学リソース分野）

17:10～17:25 コーヒーブレイク

17:25～18:10 ショートトーク I

座長：木下 哲（横浜市立大学 生命ナノシステム科学研究科）

17:25～17:33

P1-5 TLK-1は核内のヒストンH3.3を抑制し細胞の分化状態を維持する

柴田 幸政（関西学院大学 理工学部 生命科学科）

17:33～17:41

P1-7 A CRISPR Knockout Screen Identifies Retroelement Silencing Factors in Embryonic Stem Cells

福田 溪（理化学研究所真貝細胞記憶研究室）

17:41～17:49

P1-31 ヒトES細胞-骨格筋変換に関わるaccessible chromatin構造

秋山 智彦（慶應義塾大学医学部坂口記念システム医学講座）

17:49～17:57

P1-36 RNA polymerase II CTD Ser7は転写を減速させてArgonauteのRNAへのtargetingを促進する

梶谷 卓也（北海道大学大学院理学研究院生物有機化学研究室）

17:57～18:05

P1-37 始原生殖細胞によるエピゲノムリプログラミング機構の解明とその人為的制御

関 由行（関西学院大学 理工学部 生命医化学科）

18:10～18:50 特別講演

座長：石野 史敏（東京医科歯科大学難治疾患研究所 エピジェネティクス分野）

核移植クローンとエピジェネティクス

小倉 淳郎（理化学研究所バイオリソースセンター（BRC））

19:30～21:00 懇親会（如水会館）

プログラム

5月23日(火)

9:00～11:30 一般講演Ⅲ

座長：古関 明彦（理化学研究所 統合生命医科学研究センター（IMS））

9:00～9:25

O-9 FACTを介したクロマチンリモデリングの分子機構

津中 康央（横浜市立大学 生命医科学研究科）

9:25～9:50

O-10 乳がん細胞でノンコーディングRNA群により規定される活性染色体ドメイン

斉藤 典子（がん研究会がん研究所）

9:50～10:15

O-11 牛肉生産におけるエピジェネティクス応用とその可能性

後藤 貴文（鹿児島大学 農学部 農業生産科学科）

10:15～10:30 コーヒーブレイク

座長：角谷 徹仁（東京大学大学院 理学系研究科）

10:30～11:00

O-12 1001エピゲノムプロジェクト：シロイヌナズナ系統間のエピゲノム多様性

川勝 泰二（農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門）

11:00～11:30

O-13 細胞悪性化とエピゲノム異常

油谷 浩幸（東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野）

11:30～12:00 総会

13:20～14:50 ポスター討論2（P2-1～P2-51）

15:00～15:45 ショートトークⅡ

座長：浦 聖恵（千葉大学大学院 理学研究科）

15:00～15:08

P2-9 Analysis of Epigenetic gene expression by fluctuation of heterochromatin

沖 昌也（福井大学 大学院工学研究科 生物応用化学専攻）

15:08～15:16

P2-20 単一細胞複製タイミング解析による三次元ゲノム構造の予測

高橋 沙央里（理化学研究所 多細胞システム形成研究センター）

15:16～15:24

P2-28 テトラヒメナにおいてHP1様タンパク質のリン酸化-脱リン酸化のサイクルはヘテロクロマチンボディの形成を促進する

片岡 研介（基礎生物学研究所 クロマチン制御研究部門）

15:24～15:32

P2-32 ヒストンH2A O-GlcNAc修飾による哺乳類特有DNA修復機構

早川 晃司（東京大学大学院農学生命科学研究科応用動物科学専攻細胞生化学）

15:32～15:40

P2-43 ES細胞の樹立におけるインプリンティング破綻の機構と役割

山口 新平（大阪大学大学院 生命機能研究科）

15:45～16:25 奨励賞受賞講演および授賞式

座長：牛島 俊和（国立がん研究センター）

A-1 長鎖非翻訳 RNA TUG1を標的とした新規がん治療薬の開発に関する研究

勝島 啓佑（名古屋市立大学大学院医学研究科 遺伝子制御学）

A-2 ヘミメチルDNAにおけるNP95の結合がSETDB1を介した内在性レトロウイルス (ERV) 転写抑制を阻害する

SHARIF Jafar（理化学研究所 統合生命医科学研究センター (IMS)
免疫器官形成グループ）

16:25～16:55 次回年会長講演

座長：眞貝 洋一（国立研究開発法人理化学研究所眞貝細胞記憶研究室）

分裂酵母jmcドメインたんぱく質Epe1はエピゲノムを多面的に制御する

村上 洋太（北海道大学理学部化学科）

16:55～ 閉会挨拶

眞貝 洋一（国立研究開発法人理化学研究所眞貝細胞記憶研究室）